

# ♪ 中学部活 集大成の響き



3年間の集大成となる演奏を披露する日進東中の吹奏楽部員たち＝日進市民会館で

## 日進市内4校部員 吹奏楽記念演奏会

日進市内の四中学校吹奏楽部による「記念演奏会」が二日と十日、同市の日進市民会館であり、それぞれの学校が三年間の集大成となる音色を響かせた。

七月末の地区大会に始まる夏のコンクールが、新型コロナウイルスの影響で中止になったことを受けて、生徒たちの思い出づくりの機会を設けようと顧問らと市教育委員会が企画。両日の午前と午後、各学校が一時間ほどずつステージに立った。

十日午前の演奏は、学校が再開した六月から密を防ぎやすい個人やパートごと

の練習を中心に組み組んできたという日進東中の吹奏楽部。一〜三年生約六十人が「デイズニードレー」など六曲を、立ち上がる動きや各楽器のソロ、寸劇を交えながら楽しげに披露した。途中、顧問の羽貝香里教諭が「生徒たちは我慢の連続でしたが、みなさまのおかげでこの場を設けられた」と客席で見守る保護者らにお礼を伝える一幕も。最後は「いのちの歌」を全員で合唱し、手の甲で涙をぬぐう生徒もいた。

部長でトランペット奏者の三年生森岡愛麗さん(一八)は「中止が決まってみんなどんよりしてたけど、演奏会が決まってからは『やるしかない』と覚悟を決めた。練習中は、換気のために窓を開けていたので冷房が効きづらく、みんな汗だらだらでつらかったけど、今日は本当に楽しかった」と充実した表情を見せた。各学校の演奏には、保護者のほか、同市のふるさと

納税制度を使って、市内の学校に楽器などを寄付した数人も招待され、演奏を楽しんだ。  
(西川侑里)